

2012年度（2013年3月期）  
第2四半期累計期間（上期）  
決算説明会

2012年11月26日  
株式会社 神鋼環境ソリューション

I 2012年度上期決算

II 2015年度中期ビジョンへの  
進捗状況

I - 1 2012年度上期決算

I - 2 2012年度見通し

◆ I-1 2012年度上期決算  
全体概要（連結・前回公表との差異）

(金額単位：億円)

	前回 (4/26公表) 上期見通し ①	12年度 上期実績 ②	差異 ②-①
売上高	300	291	△ 8 (△2.7%)
営業利益	5.5	3.3	△ 2.1 (△38.9%)
経常利益	5.0	3.1	△ 1.8 (△37.0%)
純利益	2.5	1.2	△ 1.2 (△51.2%)

※通期業績予想については、前回(4/26公表)からの変更無し

主要差異要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>○売上時期ズレ</li> <li>○海外水処理分野の 一部案件における採算悪化</li> </ul>

◆ I-1 2012年度上期決算  
全体概要（連結）

(金額単位：億円)

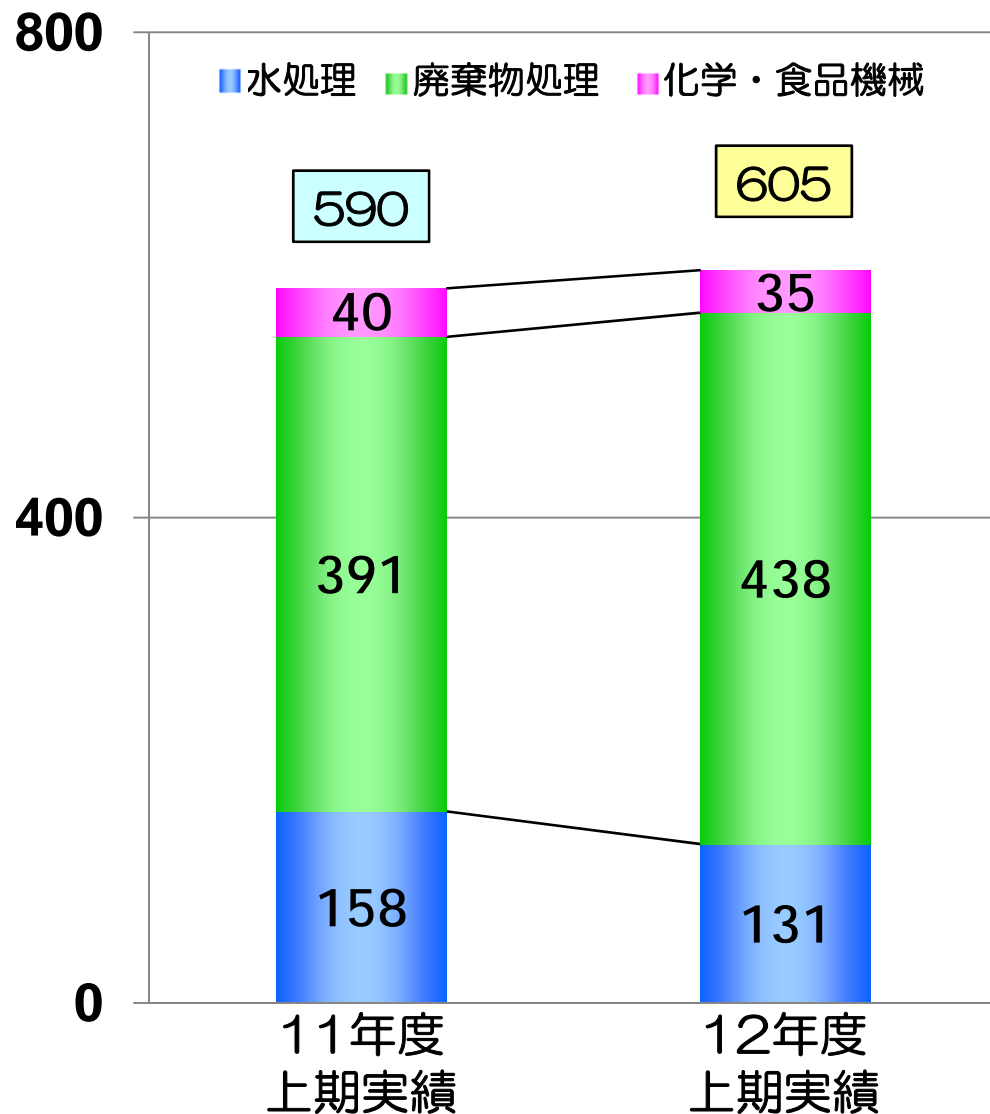
	11年度 上期実績 ①	12年度 上期実績 ②	差異 ②-①	12年度 上期末 受注残高
受注・受託高	590	605	14	1,234 《610》*
売上高	298	291	△ 6	
営業利益	14.2	3.3	△ 10.8	
(営業利益率)	(4.8%)	(1.2%)	—	
経常利益	14.4	3.1	△ 11.3	
(経常利益率)	(4.9%)	(1.1%)	—	
特別損益	△ 3.8	0.0	3.8	
当期純利益	6.3	1.2	△ 5.1	
(当期純利益率)	(2.1%)	(0.4%)	—	

※受注・受託高は長期運転維持管理業務の受託高を含む。

\* 《》内数値は、長期運転維持管理業務の受託高。

# ◆ I-1 2012年度上期決算 セグメント別受注・受託高（連結）

単位：億円

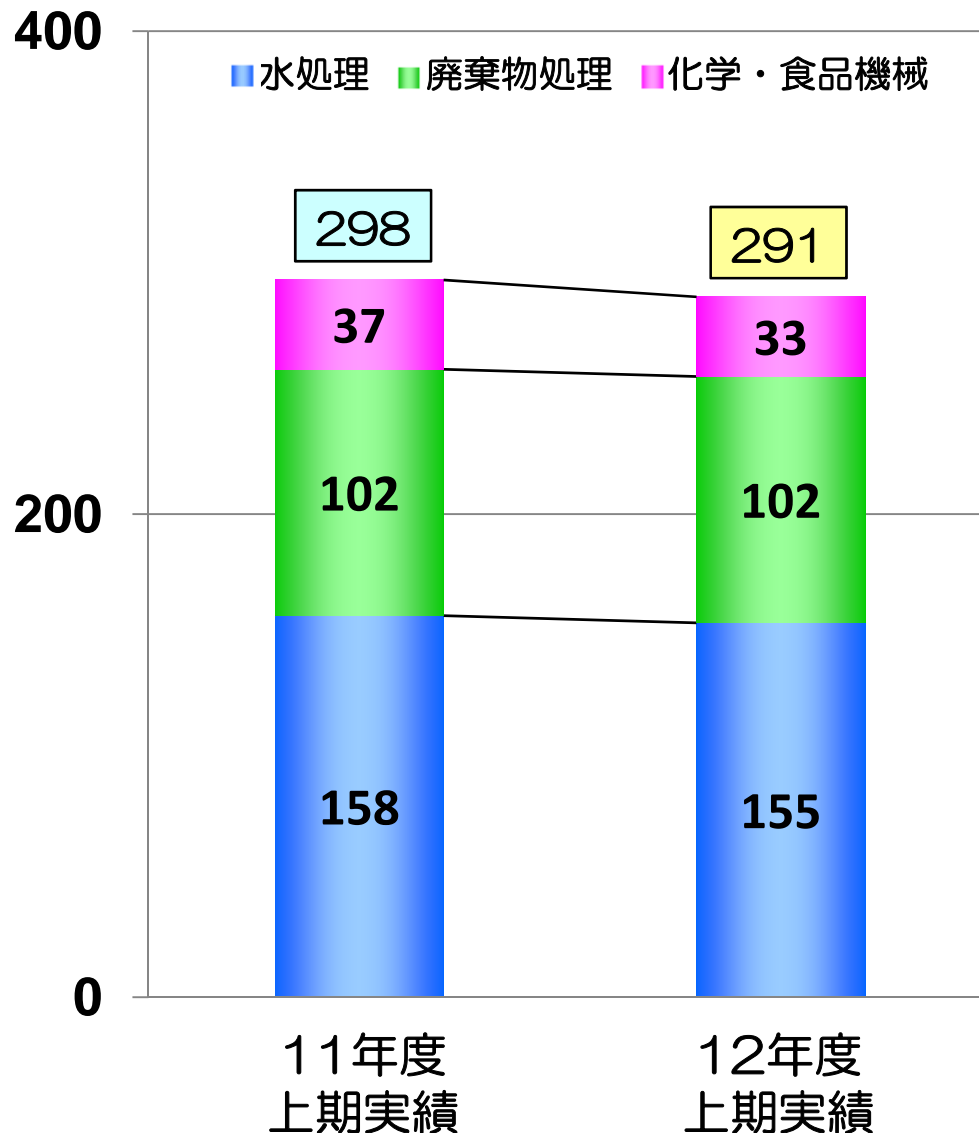


- 主要差異要因
- 化学・食品機械 (Δ5)  
厳しい受注環境のなか減少
  - 廃棄物処理 (+47)  
都市ごみ焼却の大型案件受注等により増加
  - 水処理 (Δ26)  
官需水処理分野（特に下水処理）の受注減少等

※受注・受託高は長期運転維持管理業務の受託高を含む

# ◆ I-1 2012年度上期決算 セグメント別売上高（連結）

単位：億円



## 主要差異要因

○化学・食品機械（△3）  
既受注案件を着実に推進したものの、受注減少や案件構成変化等により減収

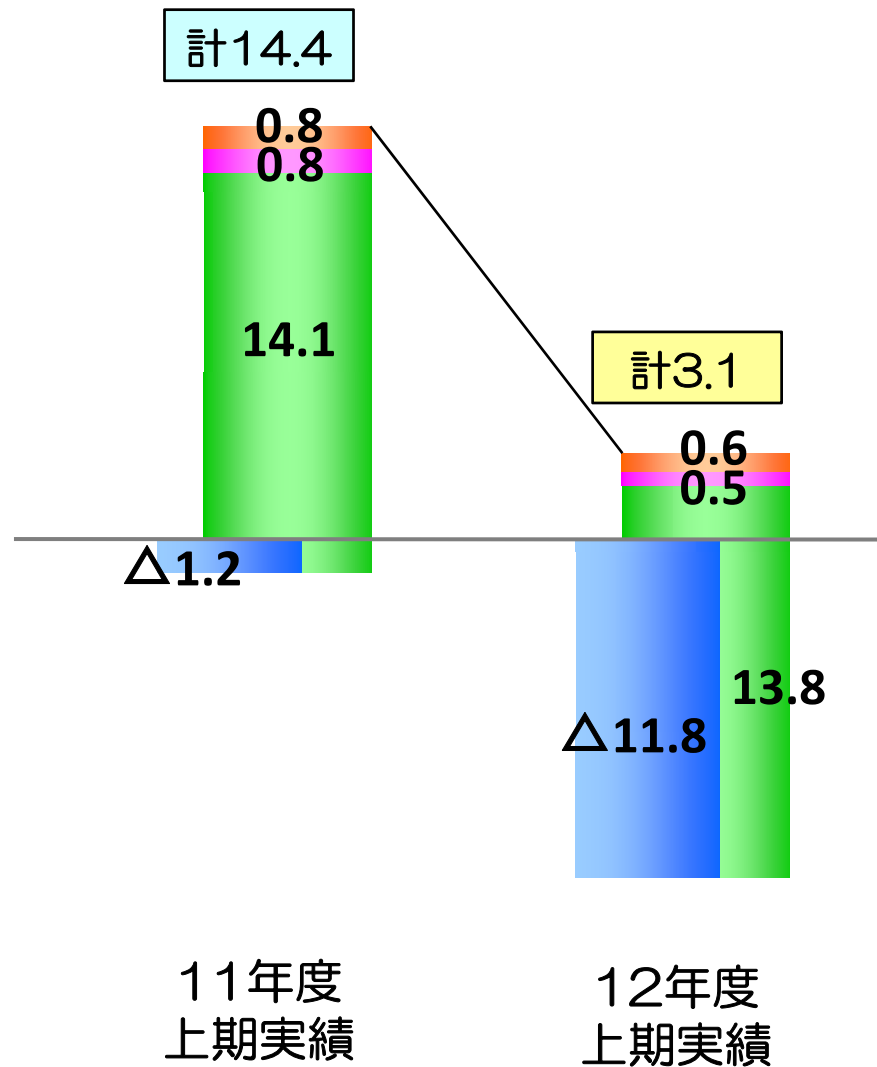
○廃棄物処理（○）  
既受注大型案件の建設工事が順調に進捗したことにより、前年同期並み

○水処理（△2）  
下水分野の前年度からの受注減の影響に加え、汚泥焼却・上水分野での大型案件の売上一巡等により減収

◆ I-1 2012年度上期決算  
セグメント別経常利益（連結）

単位：億円

■水処理 ■廃棄物処理 ■化学・食品機械 ■調整額



主要差異要因

○化学・食品機械（△0.2）  
既受注案件を着実に推進したことにより、前年同期並み

○廃棄物処理（△0.3）  
既受注大型案件の建設工事が順調に進捗したことにより、前年同期並み

○水処理（△10.5）  
上下水処理分野での減収に伴う減益に加え、海外水処理分野において、一部案件の採算悪化等があり、大幅に減益



◆ I-1 2012年度上期決算  
連結財政状態・配当

		11年度 上期実績	12年度 上期実績
総資産（億円）		464	487
株主資本 （億円）	資本金	60	60
	資本剰余金	33	33
	利益剰余金	72	79
	計	165	172
自己資本比率（％）		35.7	35.4
外部負債 残高 （億円）	短期借入金	6	2
	長期借入金	8	5
	計	14	8
D/Eレシオ（倍）		0.09	0.05
※中間配当金（円/1株）		0	0

※2011年度年間配当金は9円/1株。2012年度も同額を予定。

◆ I-2 2012年度見通し  
全体概要（連結）

(金額単位：億円)

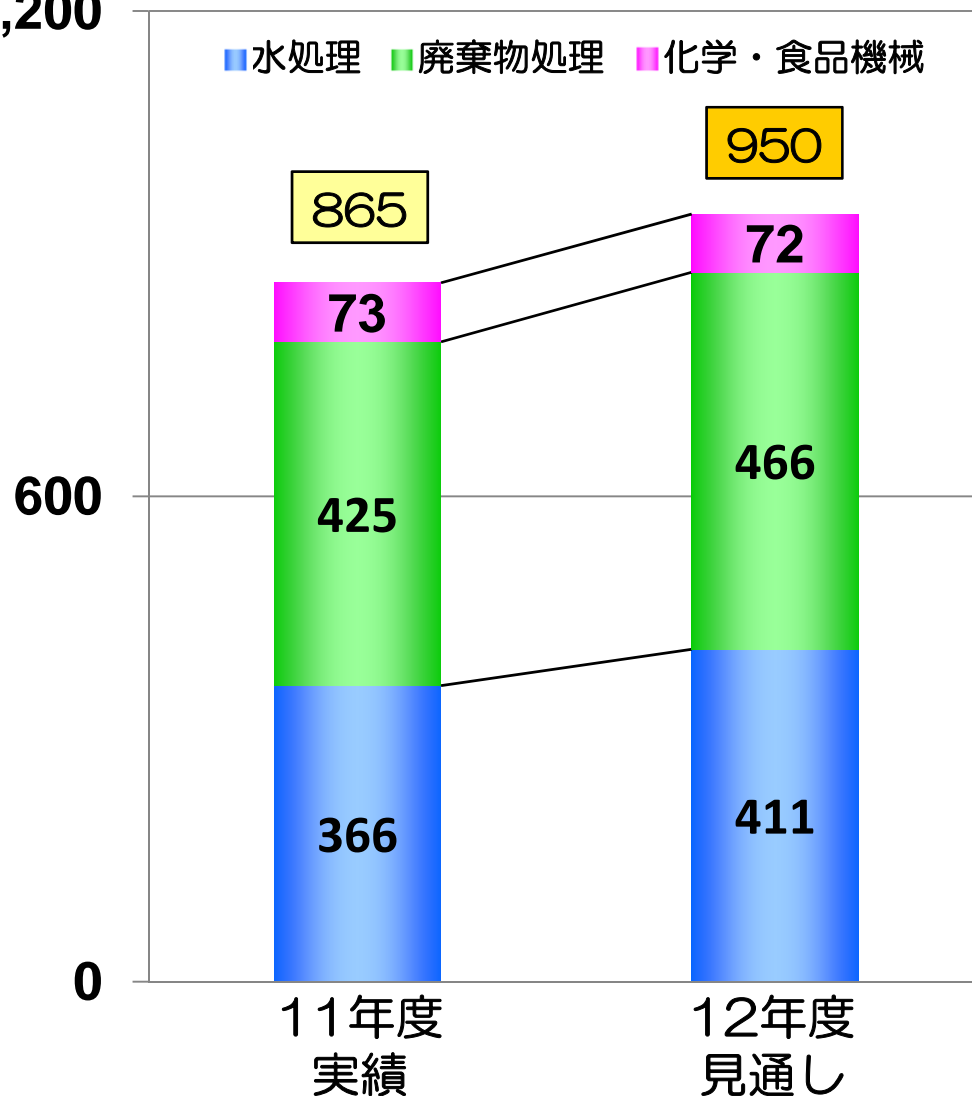
	11年度 実績 ①	12年度 見通し ②	差異 ②-①
受注・受託高	865	950	84
売上高	711	735	23
営業利益	43.8	41.0	△ 2.8
(営業利益率)	(6.2%)	(5.6%)	—
経常利益	42.3	40.0	△ 2.3
(経常利益率)	(5.9%)	(5.4%)	—
特別損益	△ 4.0	0.0	4.0
当期純利益	19.6	24.0	4.3
(当期純利益率)	(2.8%)	(3.3%)	—

※受注・受託高は長期運転維持管理業務の受託高を含む

# ◆ I-2 2012年度見通し セグメント別受注・受託高（連結）

単位：億円

1,200

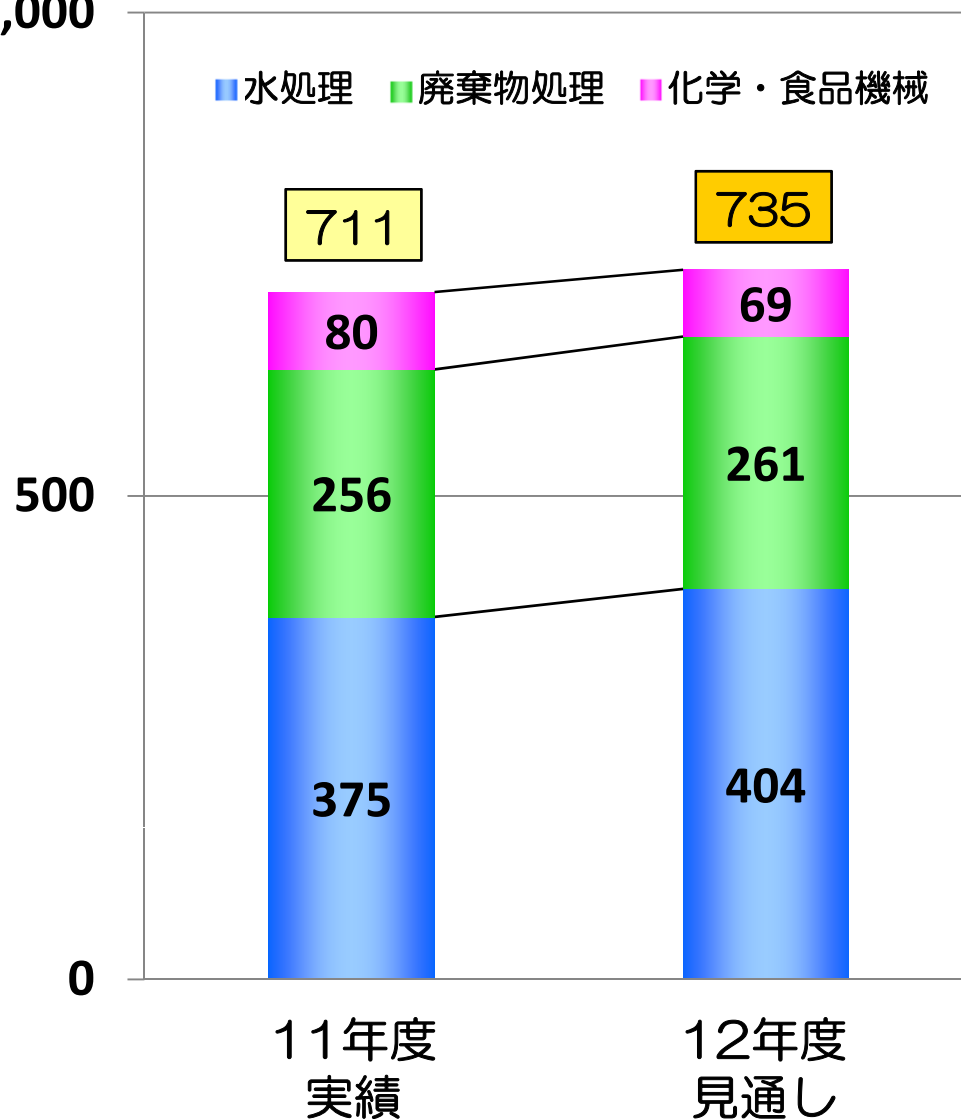


- 主要差異要因
- 化学・食品機械（△1）  
需要の回復を見込み、ほぼ前期並み
  - 廃棄物処理（+41）  
都市ごみ焼却の大型案件受注により増加
  - 水処理（+44）  
汚泥焼却、上水等の大型案件の受注を見込み増加

※受注・受託高は長期運転維持管理業務の受託高を含む

# ◆ I-2 2012年度見通し セグメント別売上高（連結）

単位：億円  
1,000

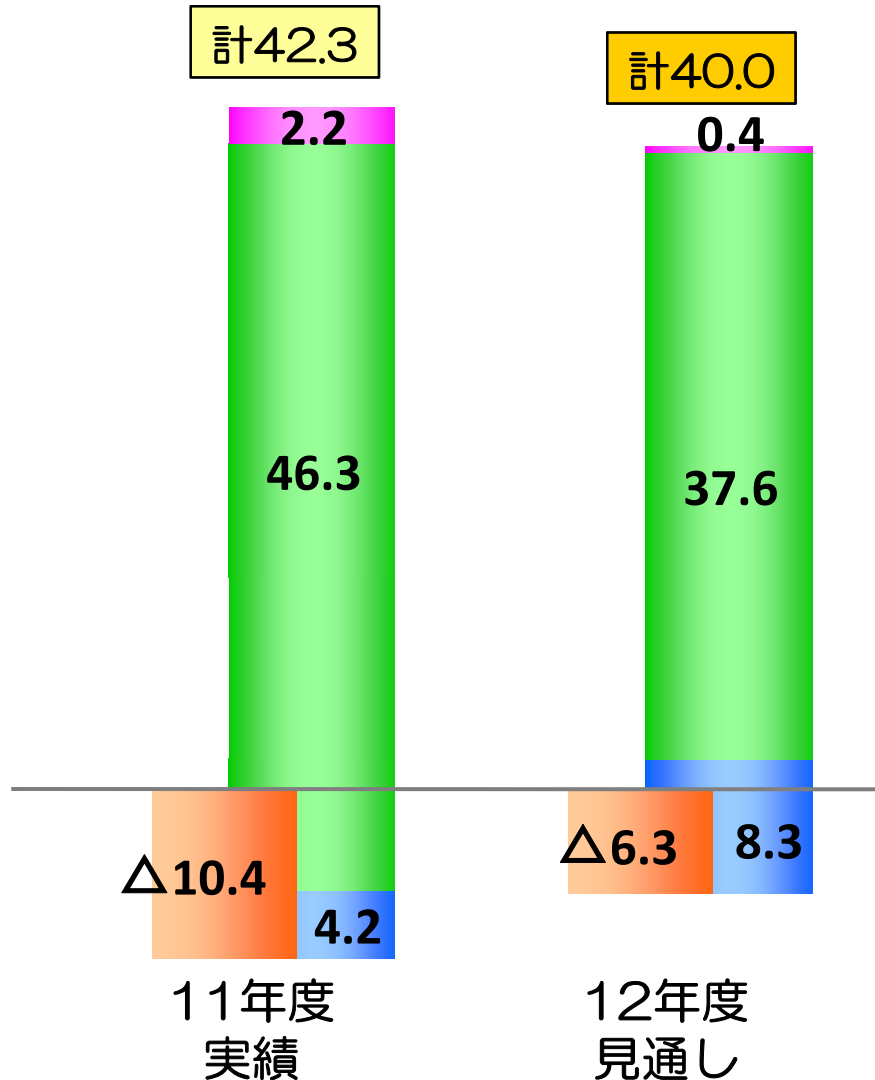


- 主要差異要因
- 化学・食品機械（△11）  
前期後半からの市況軟化に伴う受注減の影響があり減収
  - 廃棄物処理（+5）  
既受注大型案件の進捗等によりほぼ前期並み
  - 水処理（+28）  
産業用・海外水処理案件の増加等により増収

◆ I-2 2012年度見通し  
セグメント別経常利益（連結）

単位：億円

■水処理 ■廃棄物処理 ■化学・食品機械 ■調整額



主要差異要因

○化学・食品機械（△1.8）  
前期後半からの市況軟化による受注減の影響等があり減益

○廃棄物処理（△8.7）  
案件構成の変化等があり減益

○水処理（+4.1）  
産業用水処理での収益改善に加え、一部案件でのコストダウンを織り込み、全体では増益

○調整額（+4.0）  
経費削減効果等を織り込み

◆Ⅱ 2015年度中期ビジョン

2015年度中期ビジョン

■事業規模・目標収益

連結売上高 1,000億円

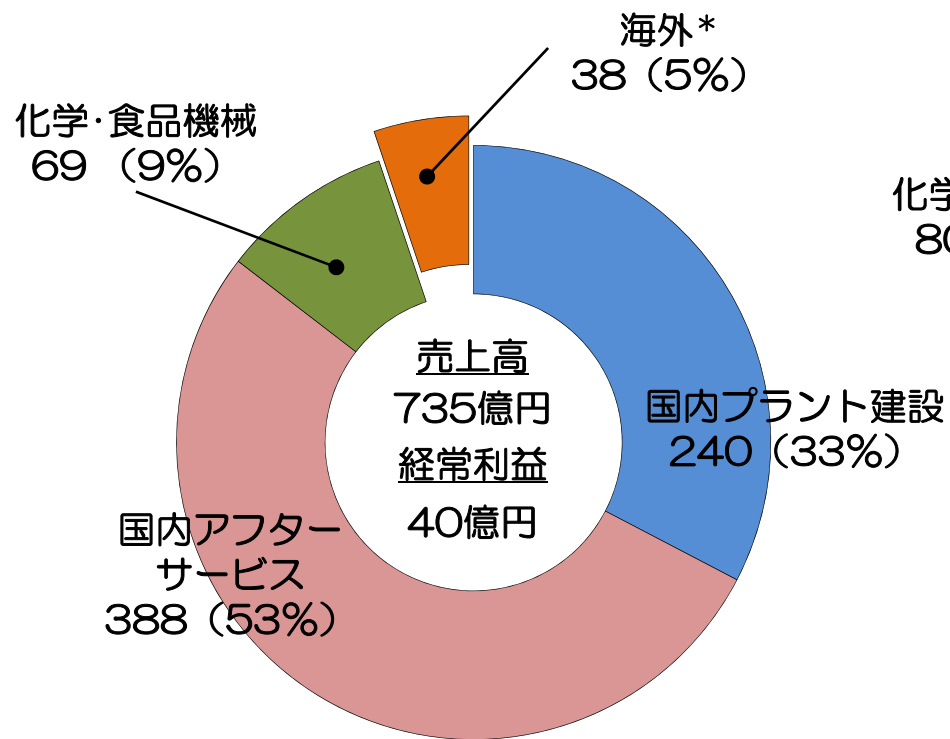
連結経常利益 50億円

■基本方針

- ①国内市場での事業基盤の強化
- ②海外市場への進出・拡販
- ③新規メニュー・事業の創出

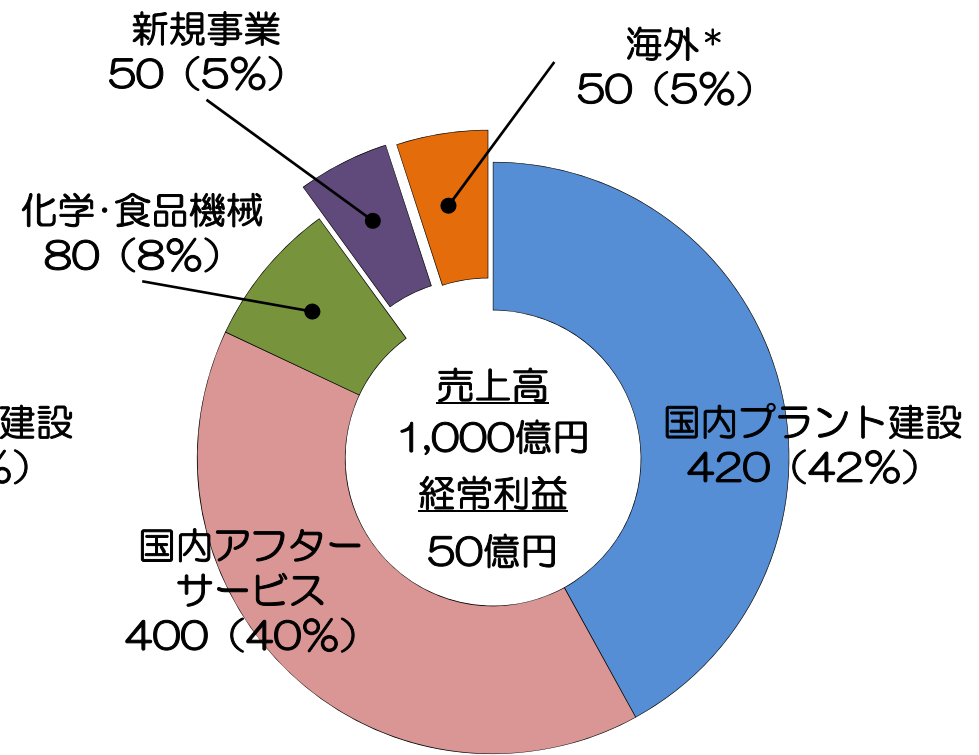
◆ II 2015年度中期ビジョンへの進捗状況

2012年度見通し



ROS	5.4%
自己資本比率	35%
D/Eレシオ	0.15倍

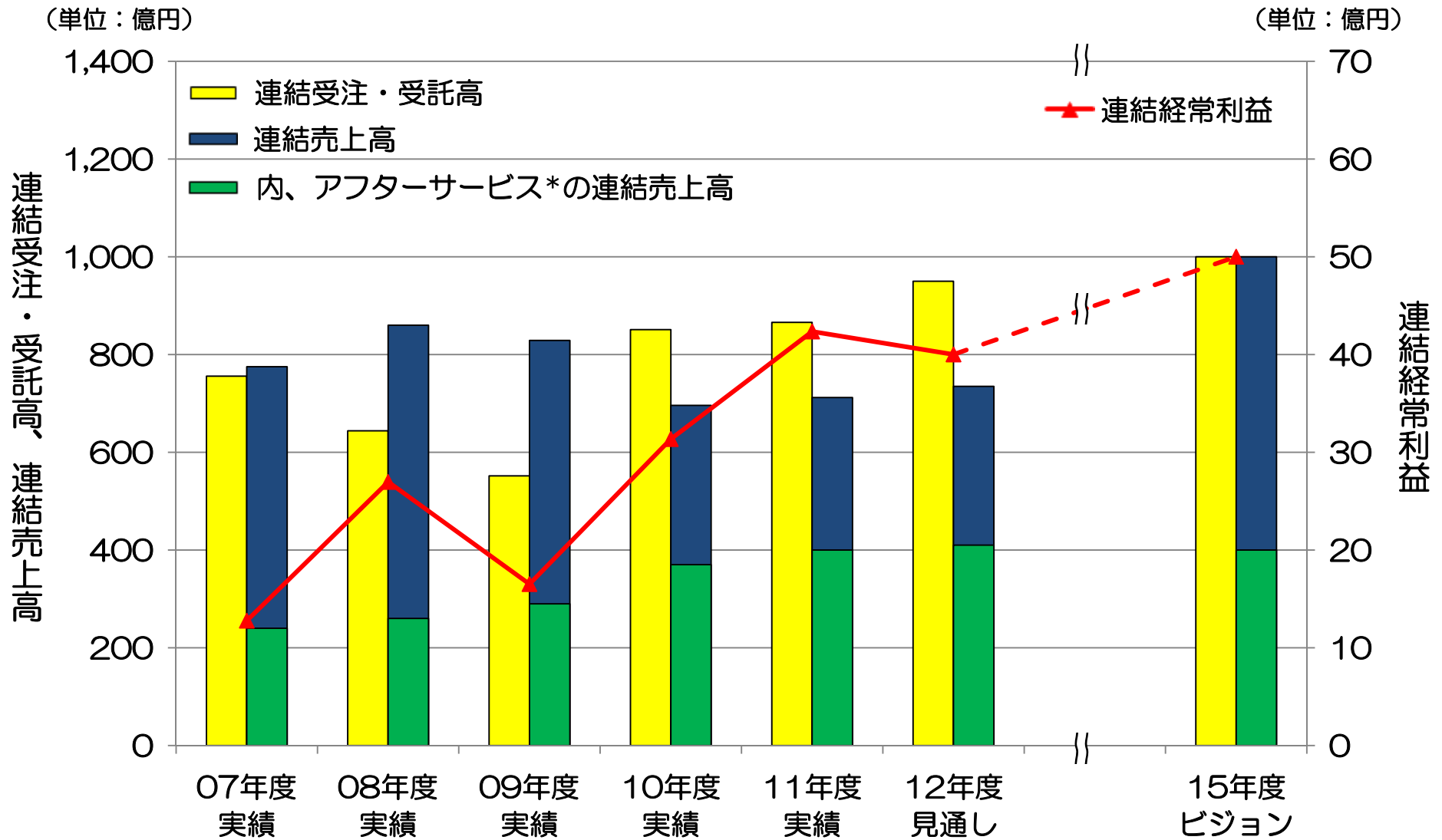
2015年度中期ビジョン



ROS	5.0%
自己資本比率	30%
D/Eレシオ	0.5倍

\* 海外売上高は化学・食品機械分を除く

◆受注・受託高・売上高・経常利益の推移（連結）

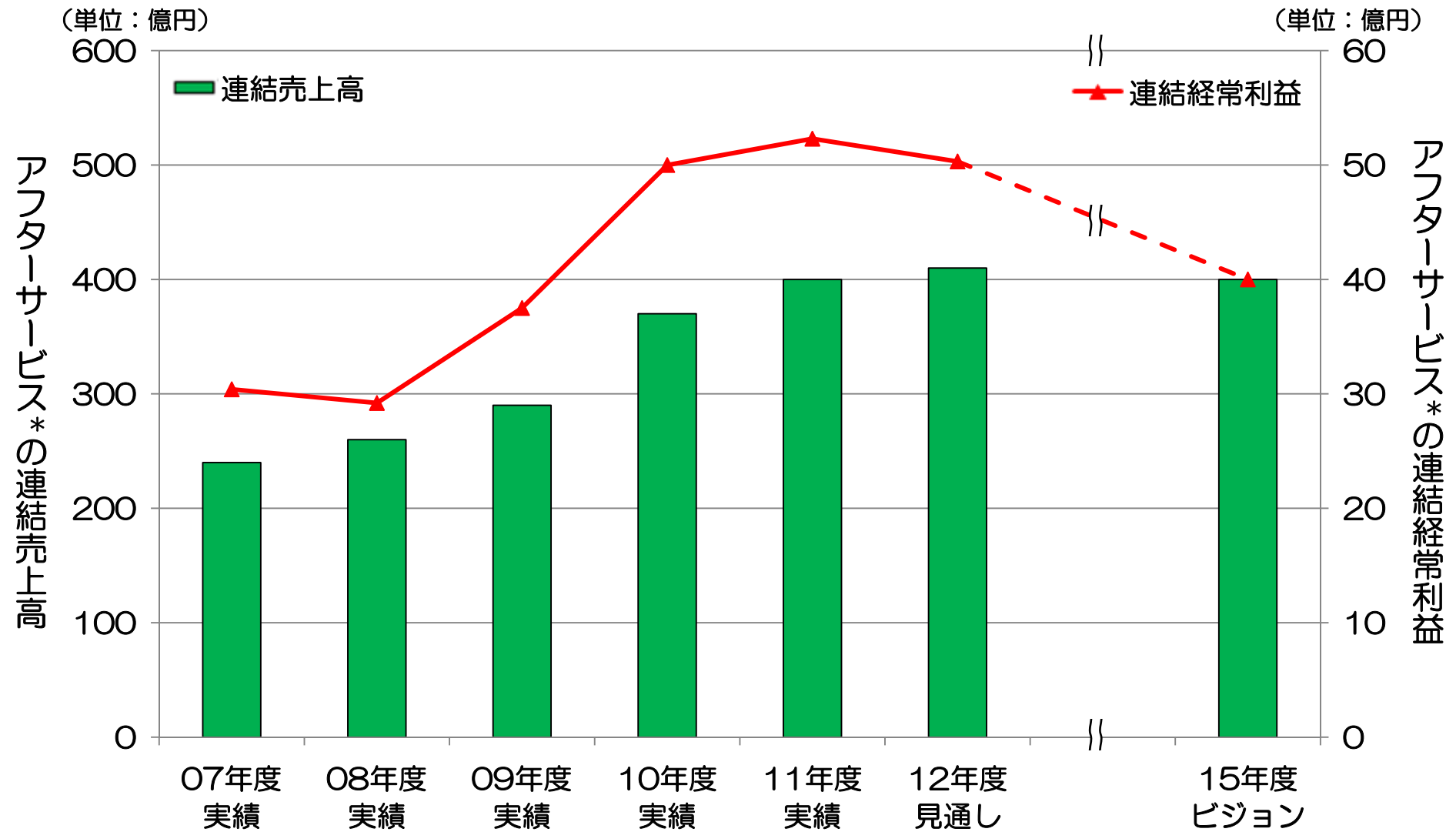


※受注・受託高は長期運転維持管理業務の受託高を含む

\*アフターサービスは運転維持管理、メンテナンス、薬品、水供給 等



◆アフターサービスの売上高・経常利益の推移（連結）



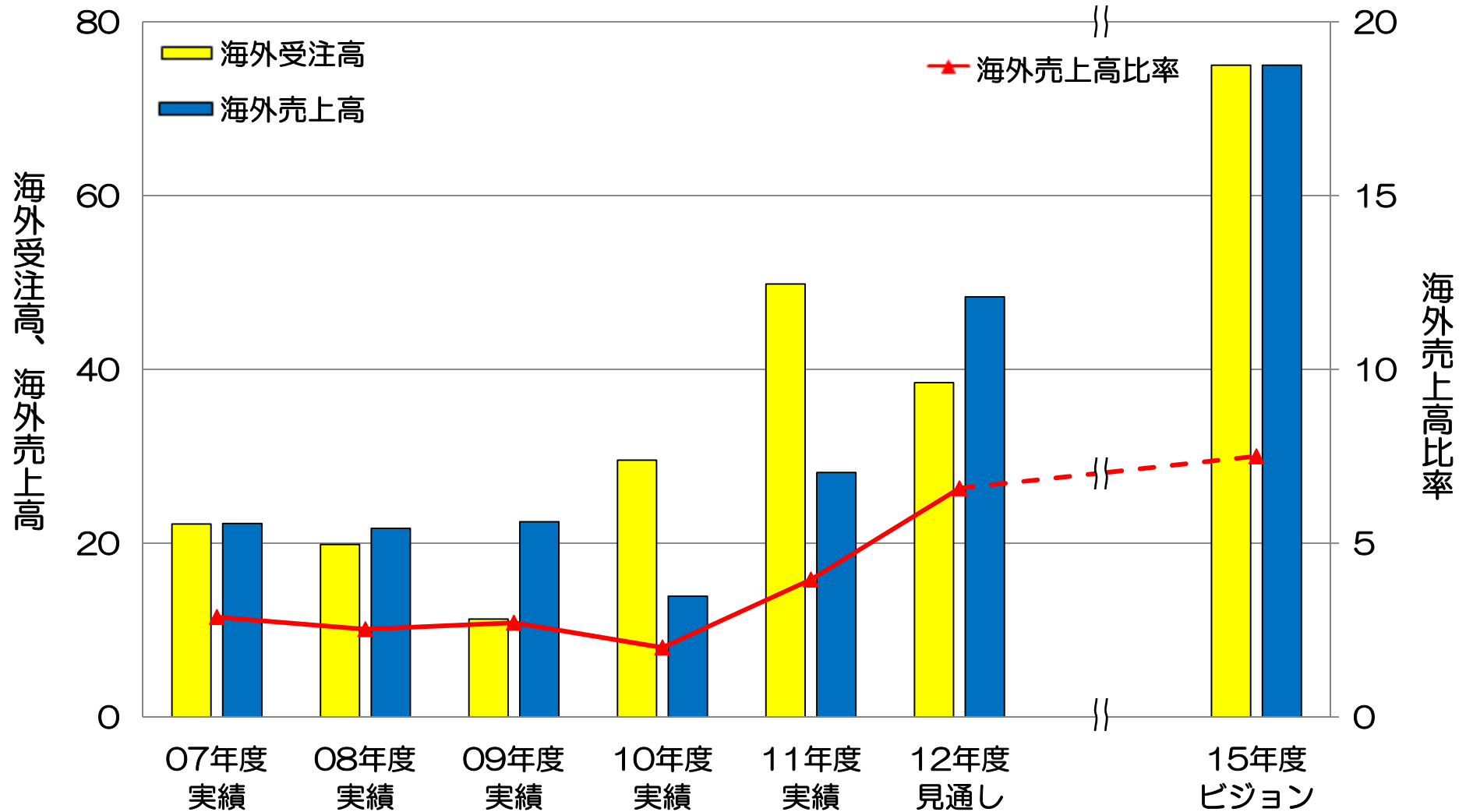
※アフターサービス\*の経常利益率は11～13%で推移

\*アフターサービスは運転維持管理、メンテナンス、薬品、水供給 等

◆海外受注高・売上高・売上高比率の推移（連結）

（単位：億円）

（単位：％）



## ◆当社事業を取り巻く環境の変化

		中期ビジョン策定時 (2010年4月)	変化点	現状及び今後の見通し
国内	共通			・再生可能エネルギーへの <b>関心拡大</b>
	水処理	官需	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東日本大震災、原発問題の発生               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 復旧・復興需要</li> <li>- 電力供給の制約</li> <li>- 電気料金の値上げ</li> <li>- 放射能除染需要</li> </ul> </li> <li>○円高定着               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 国際競争力低下</li> <li>- 日系企業の海外シフトの進展</li> </ul> </li> <li>○海外情勢               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 中国等の新興国では景気減速</li> <li>- 中国リスクの顕在化</li> <li>- 欧州・中東等情勢が不透明化</li> </ul> </li> </ul>	・公共投資は縮減
		民需		・発注形態に変化 (仕様発注→性能発注(PFI・DBO))
	廃棄物処理	・設備投資は低調		・放射能除染処理等の <b>需要が本格化</b>
	化学・食品機械	・海外へ投資シフト		・設備投資は <b>引き続き</b> 低調
	・都市ごみ焼却市場は回復傾向	・海外シフトは <b>加速</b>		
海外	アジア等新興国	・国内需要は減少	・都市ごみ焼却市場は <b>現状維持</b>	
	欧州	・社会/産業インフラ投資活発	・国内需要は <b>先行き不透明</b>	
	・日系企業の生産拠点シフト	・景気減速も、インフラ整備は <b>堅調</b>		
	・CO <sub>2</sub> 削減策として「Waste to Energy」に注目	・日系企業の生産拠点シフト及びリスク分散が <b>加速</b>		
		・再生可能エネルギーへの <b>関心拡大</b>		

◆セグメント別の施策

		水処理	廃棄物処理	化学・食品機械
国内	既存	DBO・PFI案件の推進 差別化技術の開発推進	DBO・PFI案件の対応強化	ものづくり力強化
	再生可能 エネルギー	バイオ天然ガス化技術 (こうべバイオガス活用事業等)	再生可能エネルギー活用を 睨んだ次世代メニュー戦略	水素製造技術の新規展開
	新規	放射能除染処理技術の開発	微量PCB汚染絶縁油再生事業	
海外		ベトナム/インドでの 事業基盤の確立  中東での 水リサイクルの展開	欧州での Waste to Energy推進 (高効率廃棄物発電)	ベトナム生産拠点の確立
共通		アフターサービス強化 コスト競争力の強化		

◆重点課題の成果及び今後の取り組み

共通

- ・自治体、民間企業の震災復旧工事を完遂
- ・再生可能エネルギー分野への取り組み
- ・放射能汚染除去技術確立への取り組み

水処理

- ・差別化技術の開発、バイオ天然ガス化技術を活用した「KOBEグリーン・スイーツプロジェクト」等を推進
- ・ベトナム展開の加速
- ・インド・中東展開を推進

廃棄物  
処理

- ・甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合向け案件の受注
- ・高効率廃棄物発電の実証設備建設を推進

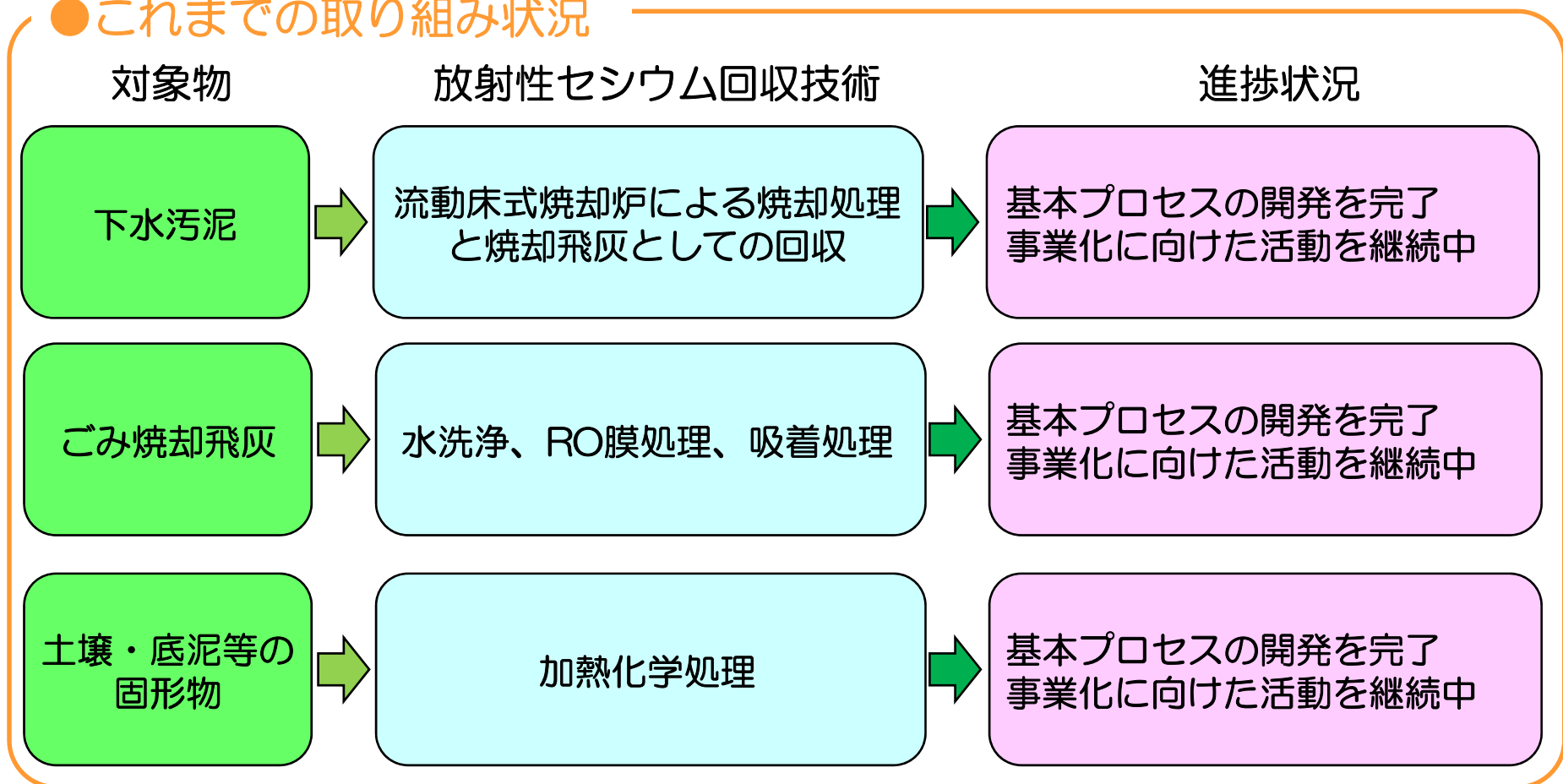
化学・  
食品機械

- ・ものづくり力強化への取り組みを継続
- ・ベトナムでのグラスライニング製機器生産拠点の確立

◆放射能汚染除去技術の開発と活用に向けた取り組み

- 東日本大震災に伴う原発事故による放射能除染処理
- 神戸製鋼Gr.で連携し、当社の持つ技術力を活かし対応中

●これまでの取り組み状況

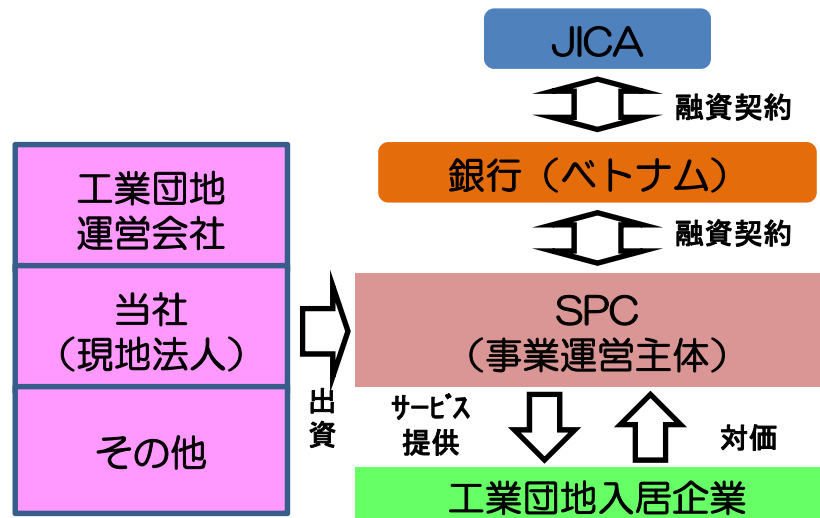
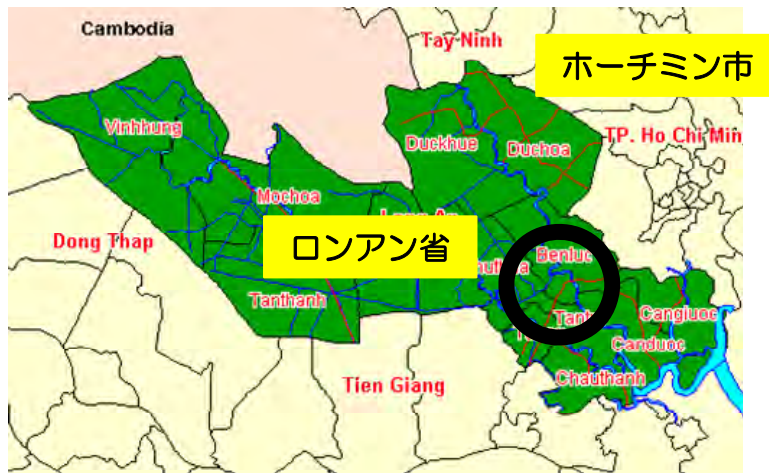


# ◆ベトナム展開

	2011年度実績	2012年度の実績・取り組み
社会・インフラ整備関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国交省、JICAからF/S公募受託               <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市との相互協力協定下、キエンザン省フーコック島の水・インフラ事業調査に着手</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今年度内にF/S調査の完了</li> <li>○事業化に向けた取り組みを継続</li> </ul>
産業用水処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サン鉄鋼向け排水処理設備               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベトナム現地法人（KESV）として初受注案件</li> </ul> </li> <li>○下記2案件の建設を完了               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポミナ鉄鋼向け用水・排水処理設備（試運転は12年度実施予定）</li> <li>・サッポロベトナム向け用水・排水処理設備</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ベトナム現地法人を核に受注活動を積極展開</li> <li>○ベトナム現地法人（KESV）として、4件の受注達成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・YKKベトナム社向け用水設備・排水処理設備</li> <li>・LOTTEベトナム向け排水処理設備の増設工事など</li> </ul> </li> <li>○維持管理事業への展開</li> </ul>
投融資案件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ロンドウック工業団地事業に参画               <ul style="list-style-type: none"> <li>・双日44.2%、大和ハウス工業35.1% 当社8.7%、ドナフード12%を出資</li> <li>・総事業費：約1億米ドル</li> <li>・販売面積：202.5ha</li> <li>・第一期造成工事を実施中</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グラスライニング製造工場の建設に着手               <ul style="list-style-type: none"> <li>・13年度操業開始予定</li> </ul> </li> <li>○工業団地水供給・水処理事業（ロンアン省）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・12年度での事業化に向け、F/S継続中</li> </ul> </li> </ul>

◆ロンアン省／工業団地水供給・水処理事業

- 国際協力機構（JICA）の海外投融資スキームを活用した水供給・水処理事業等の事業化を推進中。
- 水処理事業2プロジェクト（No.1、No.2）
  - ・事業会社を設立し、ビジネスライセンスを取得。事業開始に向けて諸条件交渉中。
- 水供給プロジェクト（No.3：Ben Luc地区向け給水事業）
  - ・事業会社設立申請準備中。



●水処理事業2プロジェクト概要

No.1：Thuan Dao II 工業団地

◆排水処理規模：I期2,400m<sup>3</sup>/日  
II期2,400m<sup>3</sup>/日

No.2：Phu An Thanh 工業団地

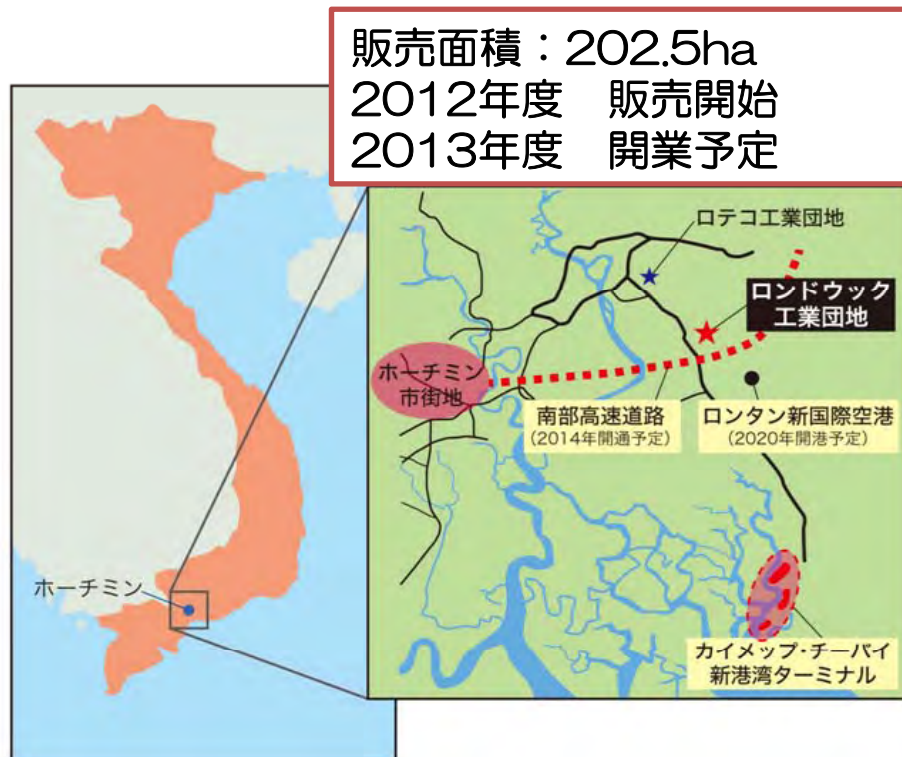
◆排水処理規模：I期4,800m<sup>3</sup>/日  
II期4,800m<sup>3</sup>/日



## ◆ ロンドウック工業団地事業

### ● ロンドウック工業団地

- 交通・物流に最適ロケーション
- 日系企業主体で「環境にやさしい工業団地」を実現



### ① 企業誘致・土地販売状況

- 70社を超える日系企業とコンタクト中
- LIXIL、テルモなど4社（当社含）が進出決定（計67ha販売済み）
- 当社ガラスライニング製造工場は2013年度完成予定

### ② 水処理設備の受注状況

- 工業団地全体の集中排水処理設備（9,000m<sup>3</sup>/日）はKESVが受注済
- その他の顧客へも提案活動を展開中

◆国内市場での事業基盤の強化  
流動床式ガス化溶融炉

●西秋川衛生組合向け案件 (2011年3月受注)

- ◆契約金額 168億円
- ◆設備能力 117トン/日 (58.5トン/日×2系列)
- ◆竣工予定 2014年3月



(完成予想図)

最終処分場の掘り起こしごみを安定処理

●芳賀地区広域行政事務組合向け案件 (2011年6月受注)

- ◆契約金額 182億円
- ◆設備能力 143トン/日 (71.5トン/日×2系列)
- ◆竣工予定 2014年3月



(完成予想図)

下水汚泥等を含む多様なごみを安定的に処理

連続受注



流動床式ガス化溶融炉  
国内No.1

●甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合向け案件 (2012年6月受注)

- ◆契約金額 289.5億円 (20年間運営期間を含む建設・運営一括事業)
- ◆施設の概要
  - ・高効率ごみ発電施設 369トン/日 (123トン/日×3系列)
  - ・リサイクル施設 不燃・粗大ごみ、資源ごみのリサイクル
- ◆竣工予定 2017年3月

国内最高水準の高効率発電

## ◆高効率廃棄物発電 (Waste to Energy)

2011年度実績	2012年度取り組み・実績
<p>仏EuroPlasma社と高効率廃棄物発電に関する共同開発を開始 共同開発の実証設備建設に着手</p>	<p>実証設備の建設を完了し、試験を開始 実証データの取得・評価を実施中</p>

高効率廃棄物発電実証設備 (フランス)  
ガス化炉 (当社) + ガス改質炉 (EP社)



当社の「ガス化技術」を応用し、発生ガスを改質後、発電に使用  
→総合エネルギー回収効率50%をめざす





◆海外生産の展開  
ベトナム・グラスライニング製造工場

- 東南アジア地域におけるグラスライニング製機器の将来的な需要増加に対応
- 当社国内工場におけるトータル生産コストの低減



2011年度 ベトナム ロンドウック工業団地への進出を意思決定

2012年度 現地工場の建設着工（12月予定）

2013年度 工場完成、生産開始（秋予定）

工場名 : KESV社 ロンドウック新工場  
(KOBELCO ECO-SOLUTIONS  
VIETNAM CO.,LTD)

所在地 : ドンナイ省 ロンタン市  
ロンドウック工業団地（※）内  
※ 当社出資比率 8.7%

工場規模 : 敷地面積 10,000m<sup>2</sup>  
建屋面積 3,000m<sup>2</sup>

生産品目 : グラスライニング製反応機及び貯槽  
グラスライニング製熱交換器 等



工場概要

工場完成予想図

◆次期中期経営計画策定に向けて

2013年～2015年（3ヶ年）

次期中期経営計画の策定

◆4つのキーワード

- 業界でのレベル向上
- 海外における成長機会の追求
- モノだけの価値から、サービスも含めた価値による  
事業形成への転換
- 新規メニュー、新事業の創出

本資料の中には、当社の将来への予測に関する内容が含まれています。これらは、当社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまいう可能性があります。当社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。